

名古屋市（西ブロック）

1. 令和元年度の達成目標・取組状況

令和元年度の達成目標	取組状況
地域移行支援のさらなる促進	6月・2月の病棟個別相談会を実施。6月は福祉制度の説明・ピアサポーターのリカバリーストーリー。2月はケママネージャーから介護保険制度を利用した地域での暮らしの講義・ピアサポーターのリカバリーストーリー。ピアサポーターにも個別相談会のブースに入ってもらった。 9月には2回社会資源見学事業を利用。1回目は有料老人ホーム・生活介護見学。2回目はGHとB型を見学。B型所属のピアサポーターにもお話をいただいた。
高齢分野との連携	モデル区を選定し包括支援センターとの協議の場を設けた。構成メンバーは、包括支援センター、障害者基幹相談支援センター、保健センター生活、困窮支援団体。事例検討・各機関の仕事内容や役割などを確認。今後は構成メンバーに保健師、社協等にも参加してもらえるよう調整中。3か月1回事例検討を行い顔のみえる関係作りを継続し、地域課題の共有の場として活用。
ピアサポーター活用	ピアサポーター9名登録。現在までに18回活用。 退院の喚起のためのリカバリーストーリーを語ってもらい、障害施設職員、大学、民生委員、精神科以外の医師・看護師等色々な場での普及啓発実施。

2. 支援事業の成果

- ・広域ADより適宜アドバイスや評価をいただくことで、ブロックの方向性を決めることができた。

3. 次年度に向けた課題等

- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築の6つの構成要素のうち「住まい」の分野の取り組みができていないので「住まい」に関する取り組みが必要。
- ・協議の場ができ圏域全体の取り組みはできつつあるので、各区単位での取り組みが行えるとよい。

4. 課題の解決に向けた 令和2年度取組方針

- ・住宅セーフティーネット制度や住宅支援協議会との連携
- ・圏域内にある精神科病院中心に2つに分け地域の実情に応じた目標設定を行い取り組む。